

ガラスアート新ブランド

誕生。

このたび、本市のガラス文化の発展を目的に、株式会社三越伊勢丹（東京都新宿区）、株式会社日本デザインセンター（東京都中央区）、および市内在住のガラス造形作家とともに、新たなガラスのブランド「CLASS GLASS（くらすガラス）」を立ち上げました。 商工労働課（☎82-1150）

ガラスのブランド化は、これまで本市が取り組んできた、「きららガラス未来館」を拠点としたガラス作品の制作体験や全国の若手ガラス造形作家の登竜門である「現代ガラス展」の開催、ガラスアート作品の市内展示等に加え、新たに、市内を拠点に活動するガラス造形作家のアート作品をブランド化することで、商品力の高いガラスアート作品を創り出すとともに、まちの魅力を発信し「ガラスアートのまち」としての価値を創ることを目的としています。本市の歴史や自然環境を踏まえて、ブランド名・ロゴマーク・ブランドコンセプトが完成したので、お知らせします。また、銀座三越（東京都中央区）で、3月10日（木）～16日（水）にかけて開催するお披露目会を皮切りに、WEBサイト「MOO:D MARK by ISETAN（ムードマーク バイ イセタン）」で作品の販売を開始します。今後、市民のみならずにも広く知っていただく機会を設けます。



▪ BrandLogoMark ▪



CLASS GLASS

Made in Sanyo-Onoda

ガラスアート作品の繊細さややわらかさを表現したロゴマーク。上部の3つの「きらめき」は、それぞれ山陽小野田の人・土地・ガラスのきらめきを表しています。

▪ BrandConcept ▪

きらめきと暮らす。

海と夕陽の美しさで知られる山陽小野田市では、窯業で発展してきた歴史を背景にガラスアートの文化が育まれてきました。

この地で、自身の表現を磨き続ける造形作家たちが中心となって、立ち上げた CLASS GLASS は、「暮らす」に寄り添うやわらかさと凛とした上質さを表す「CLASS」を合わせ持つガラスアートのブランドです。ひとつとして同じものではなく、それぞれ異なる表現を持つガラスアート。

CLASS GLASS の作品は、それを手にする一人のためにあります。

作り手の思いと、受け取る人の思いがつながり、そこから生まれる出会いや時間を大切にする。

それが山陽小野田の CLASS GLASS です。

<https://classglass.jp> 最新情報は右 QR コードから ▶

